

座・ガモールファーム 通信

Vol. 16 | 2024.04.01



わたしたちは
大正大学で**都市農業**
を実践しています。

活動の詳細は裏面にて

巣鴨キャンパス7号館3階にあるテラスで育てているスナップエンドウ

ご入学・ご進学おめでとうございます。

新たなる季節

春らしく穏やかな日が続く季節となりました。大学は4月を迎え、新学期・新生活が始まりましたね。

私たち座・ガモールファームは、大正大学で2016年から大学内の空き地等を利用して農業を実践しています。今では季節に応じた様々な野菜を栽培・活用しています。

収穫した野菜は3号館1階で配布していることがあるので、ぜひ

覗いてみてくださいね。

このニュースレターでは、収穫した**野菜の紹介**や**参加型イベントの予告**などを紹介しています。

座・ガモールファームが授業と連携したものがキャンパス農園班です。**選択授業「サービスマーケティング（すがもプロジェクト）」**といい、収穫した野菜の活用を通して**巣鴨のまちづくり**を企画できます。

詳細な活動内容は裏面をご覧ください。(小池)



埼玉県にある松伏キャンパスの桜



今月の活動

キャンパス農園班

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！大正大学JST研究員の山本です。2020年度までは学生として農園活動に関わっていましたが、今は職員側の立場として活動のサポートをしています。今回は年度の初めということで、「すがもプロジェクトキャンパス農園班」の活動について改めてご紹介したいと思います。

すがもプロジェクトは3類科目の「地域課題実践論」として受講することができ、巣鴨と大正大学を様々な角度からとらえ、学生が主体となり地域課題の解決を目指す実践活動型の授業です。授業ではいくつかの班に分かれそれぞれのテーマに沿って活動を行っていくのですが、そのなかでもキャンパス農園班は、キャンパス内で都市型グリーンインフラの実践として行われている都市農園（座・ガモールファーム）の活用について考える班です。環境、教育、地域といった社会課題をテーマに幅広く活動を行っています。

これまでの農園班では巣鴨地域の伝統野菜や歴史について調べて動画を作ってみたり、栽培した野菜をつかった料理や加工品を作成したり、はたまた去年度はプレゼン大会に出場して自分たちの活動についてアピールするなんてこともしました。最近ではオープンキャンパスで農園ツアーを行い、受験生に活動の意義や面白さを伝える活動もしています。

このように、すがもプロジェクトの大きな特徴の一つとして学生が自ら企画を考え実行するという点が挙げられますが、この取り組みは皆さんにとって大きな経験になると思います。皆さんはこれまで多くの授業で「○○について課題点を挙げ、改善案を述べよ」といったレポートを書く機会があったかと思いますが、そこで述べた案を自分が実行できるかどうかまで考えたことはあったでしょうか？実際に現場に立ってみると、小さな企画でも思いのほかつまづくことが多々あります。しかしその経験がより面白く実現可能性のあるアイデアのきっかけにもなるのです。

皆さんの新たな挑戦を待っています！（山本）



座・ガモールファーム



南門広場に咲いたべか菜と大根の菜の花

こちらの項目では座・ガモールファームの普段の様子やその他課外活動、JSTの研究活動などについて紹介しています。授業としての農園活動はもちろん行いますが、学生の手が回らないところは教職員が手入れをしています。

さて、4月になって南門広場で育てていた葉物野菜には菜の花が咲いてきました。野菜としてはもう終わりですが、毎年この景色を見ると春の訪れを実感しますね。広場ではそれ以外にも伝統野菜の亀戸大根や小松菜、ワケギなどが育っています。これらの野菜は全て学生や地域の方が自由に収穫できるようになっており、野菜を通じたコミュニティ作り(grow food to share)を目指した空間になっています。

7号館3階のテラスでは玉ねぎがいよいよ大きくなってきました。今年はかなりできが良さそうなので収穫が楽しみです。また、スナップエンドウとそら豆も順調に育っているので、4月の中旬辺りからは毎年恒例の収穫ラッシュが始まると思われます。

3号館一階では水耕栽培のミニトマトが実をつけ始めました。こちらもこれからどんどん収穫できるようになるので、皆さんぜひ取りに来てください！

(山本)

詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見ることができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

